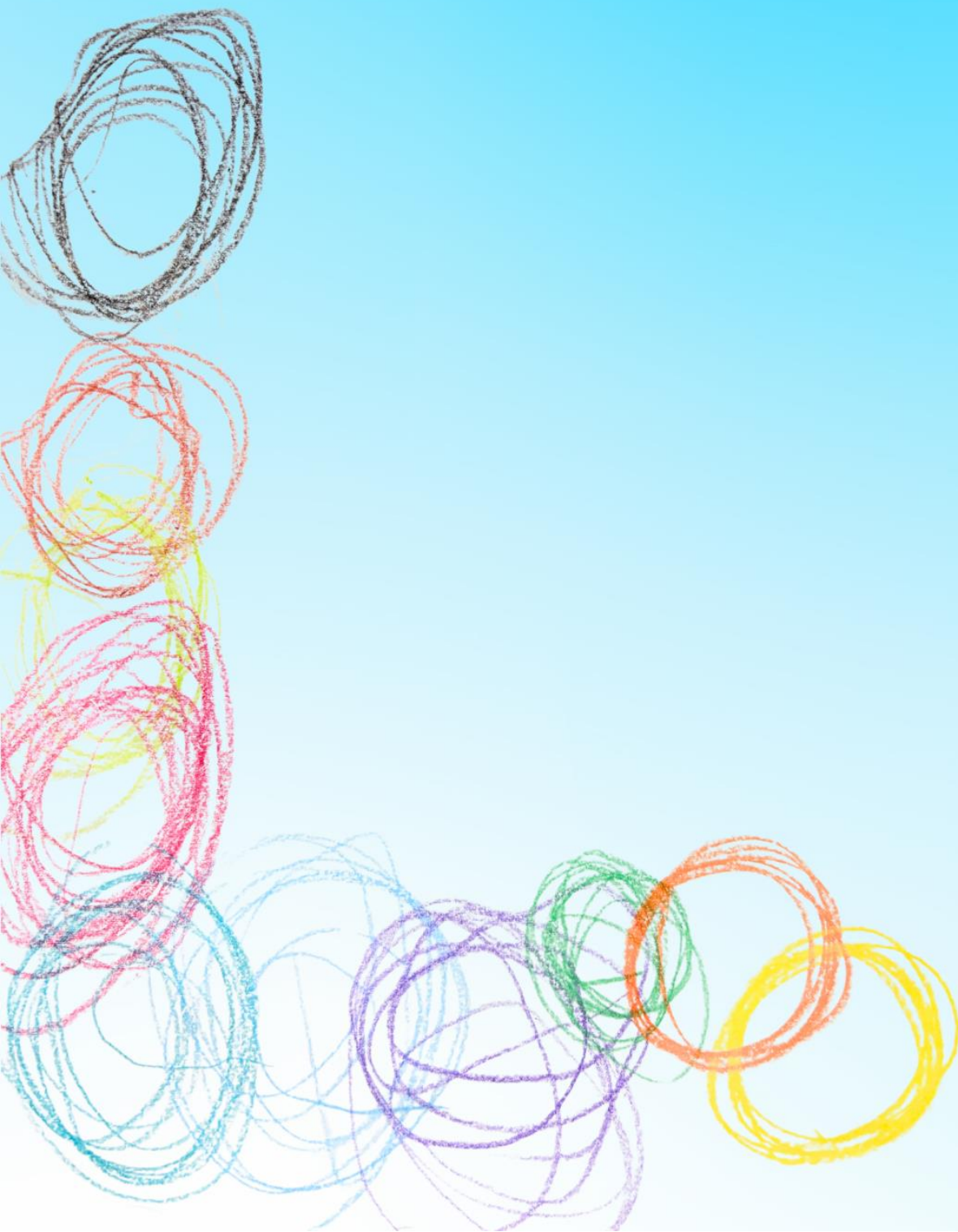


「学びの未来」を、0歳から。

こどもは無限の可能性をもつ豊かな存在

恩納村保育ビジョン



恩納村の保育ビジョン

「学びの未来」を、0歳から。

「こどもは無限の可能性をもつ豊かな存在」。

これは、わたしたち恩納村が大切にしていきたいこども像です。

こどもは生まれながらに自ら生きる力と学ぶ力をもっています。この世に生まれたその日から、自らの力で世界を知ろうとしています。

一人ひとりが「生まれながらに有能で、豊かな存在である」ということです。

恩納村には、サンゴ礁の海の青さ、山々の緑に象徴される豊かな自然環境、人々の営みや歴史・文化が育まれています。こどもたちが大きくなり巣立っていても、「またここへ戻ってきたい、住みたい」と思えるような居場所を保育・教育から生み出していきたい。

そして、恩納村の教育ビジョンへとつながる、0歳からはじまる恩納村独自の保育・教育アプローチを、これから皆さんとともに育んでいきたいと考えています。

今、わたしたちは予測困難な時代を生きています。そして、こどもたちはこれから、答えのない世界を生きていくことになります。

まだ見ぬ未来を生きるこどもたちに、「豊かさ」を手渡していくために。

わたしたち大人は、こどもたちが目を輝かせながら心を動かす姿を中心に置き、恩納村がもつむらの資源を最大限に使いながら、むらぐるみで保育・教育を創造していきたいと考えています。



保育目標



わたしたちの こどもの育ちへの想い

自律

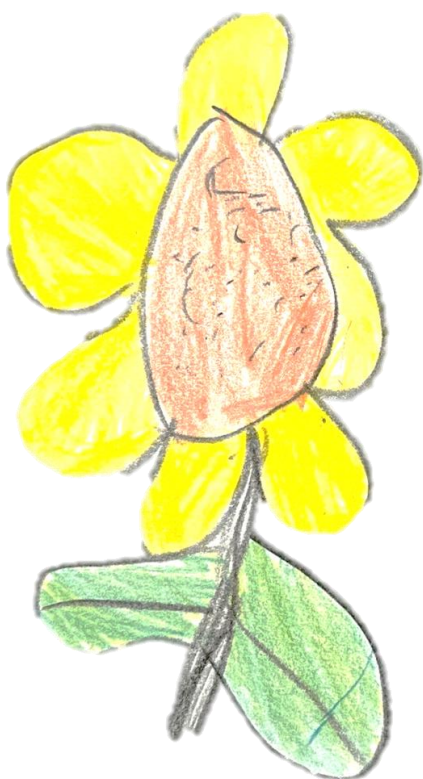
発見したり、考えたり、試したり、
確かめたりしながら自ら学ぼうとする

協働

一人ひとりの個性を尊重し、認め合う

創造

創造性豊かに自らの表現を楽しむ





保育方針

わたしたちが 大切にしていること

- 一人ひとりの心や姿に好奇心をもって耳を傾ける
- こどもたちが自ら関わりたいと思う環境をつくる
- こどもたちが自らやってみたいと思う気持ちや行動をつなげる
- こどもたちの伴走者である大人自身が柔軟であり学ぶ気持ちをもつ
- こどもも大人も互いの存在を尊重し、認め合う
- こどもをまんやかに、家庭との連携を大切にする
- 地域の中でこどもたちを育むためコミュニティと連帯する



「学びの未来」を、0歳から。

こどもたちの興味関心を起点に学びを進めるにあたっては、どのような環境を準備するのか、どのような問いを手渡すのか、どのような協働をデザインするのかなど、こどもの学びを支える大人の思考プロセスがとても重要です。

0歳からはじまるこどもの「創造的な学び」を保障し、より良い学びの環境をつくっていくために。

私たちは、6つのアプローチを大切にしながら、教育的ドキュメンテーション（保育記録）を用いた対話と保育者の専門的な研修を継続的に行い、こどもたちの創造的な学びに伴走していきます。

自律・協働・創造を支える6つのアプローチ

対話 （聴くこと・話すこと）

こどもの言葉に丁寧に耳を傾け、こどもの姿に向き合うことを大切にします。こどもや大人、こども同士、大人同士、想いや考えを聴き、対話を重ねることによってつながりを深め、学びの循環をつくります。

少人数活動

一人ひとりの想いや思考、声や姿を共有できる小グループでの活動は、学びの効果が高いとされています。こどもたちは相互に関わり合い、考え方や学びを身につけていきます。

教育的 ドキュメンテーション

こどもたちの学びのプロセスの記録、家庭との共有、保育者同士で明日の保育をより良くするために、こどもたちの学びのプロセスを可視化するドキュメンテーションをつくり、学びの循環を促します。

創造的な学び

こどもたちの興味関心を起点にデザインし、こどもたちの創造的な学びを促していきます。

環境は第三の教師

第一の教師は保育者、第二はこども同士、第三は「環境」です。創造力を育む環境、安心できる居心地の良い雰囲気と育ちを支える空間、地域コミュニティに開かれた場づくりなどこどもたちにとって豊かな「出会い」と「創造」の場をつくり出していきます。

インクルーシブな 学びの環境

「創造的な学び」が保障された環境において、それぞれの違いを個性として認め合い、互いに学び合う“わけない”環境とカリキュラムづくりを実践します。

「安心と挑戦の循環」を通して
こどものウェルビーイングを高める

乳幼児の育ちには、
「安心」と「挑戦」の繰り返しが大切

豊かな遊びと体験

様々な人や自然・絵本などの環境と出会い、
興味・関心に応じた「遊びと体験」をすること
で、外の世界への「挑戦」

アタッチメント（愛着）

こどもが不安なときなどに身近な大人が寄り添うことや、安心感をもたらす経験を繰り返すことが、「安心」という土台を築く



こどもの育ちを支える 環境や社会の厚みを増す

すべての人や環境を活かし、
恩納村でこどもの育ちを支える

これからは、保護者・養育者だけでなく、地域社会の全体で
こどもを育てる時代。

みんながそれぞれの立場で、同じ方向に向かって、人生を幸
せな状態（ウェルビーイング）で過ごすため、子育ての主役
に。

